

プログラム

2010年5月18日

開会挨拶 9:25～9:30
日本ケミカルバイオロジー学会 会長
長野哲雄(東京大学)

セッションA 9:30～10:42
座長: 細谷孝充(東京医科歯科大学) 戸嶋一敦(慶應義塾大学)

化合物スクリーニング、創薬に関する研究

O-01 9:30～9:42
核内構造体(核スペックル)形成阻害化合物のスクリーニングと転写後遺伝子発現制御機構解析への応用
松尾陽太¹⁾、三原由揮¹⁾、江藤俊志¹⁾、豊田修吉¹⁾、徳永和明¹⁾、岩本はる香¹⁾、萩原正敏²⁾、五十嵐雅之³⁾、○谷時雄¹⁾
¹⁾熊大院・自然科学、²⁾東京医歯大、³⁾微生物化学研究センター

O-02 9:42～9:54
化合物ライブラリーの構築とその有効活用
○小島宏建¹⁾、岡部隆義¹⁾、長野哲雄^{1,2)}
東大 ¹⁾生物機能制御化合物ライブラリー機構、²⁾院薬学系研究科

O-03 9:54～10:06
酵素選択的ホスファターゼ阻害剤の開発と活性評価
○土屋綾子、大沼可奈、小山佑介、平井剛、長田裕之、袖岡幹子
理研 基幹研究所

O-04 10:06～10:18
蛍光分子を指示薬としたRNA結合リガンドの探索
○梅本詩織、萩原正規、中谷和彦
阪大産研

O-05 10:18～10:30
クマリン系色素を用いたゼブラフィッシュ網膜のライブイメージング
○西村有平^{1,2,3,4)}、今鉄男¹⁾、渡邊耕平^{1,6)}、野本毅⁶⁾、新藤太一⁶⁾、岡岳彦¹⁾、梅本紀子¹⁾、島田康人^{1,2,3,4)}、黒柳淳哉¹⁾、張孜¹⁾、西村訓弘^{2,5)}、宮崎健⁶⁾、今村剛士⁶⁾、田中利男^{1,2,3,4)}
¹⁾三重大院医学系研究科薬理ゲノミクス、²⁾三重大 メディカルゼブラフィッシュ研究センター、³⁾三重大 ベンチャービジネスラボラトリー メディカルケモゲノミクス、⁴⁾三重大 生命科学研究支援センター バイオインフォマティクス、⁵⁾三重大院医学系研究科 トランスレーショナル医科学、⁶⁾キヤノン(株) 総合R&D本部

O-06 10:30~10:42

リバースからフォワードへケミカルゲノミクスを活用した抗HIV剤の創製
田中智博¹⁾、橋本知恵^{1,2)}、小森谷真央^{1,2)}、野村渉¹⁾、鳴海哲夫¹⁾、
吉村和久³⁾、松下修三³⁾、村上努⁴⁾、駒野淳⁴⁾、大庭賢二⁴⁾、山本直樹⁴⁾、
○玉村啓和^{1,2)}

¹⁾東京医歯大 生体材料工学研究所、²⁾東京医歯大院疾患生命科学研究所
部、³⁾熊本大 エイズ学研究センター、⁴⁾国立感染症研究所 エイズ研究セ
ンター

休憩

10:42~10:52

セッションB

10:52~12:04

座長：中谷和彦(大阪大学) 玉村啓和(東京医科歯科大学)

化合物スクリーニング、創薬に関する研究

O-07 10:52~11:04

短鎖ペプチドイニシエーターを用いた特殊ペプチドの翻訳合成

○後藤佑樹^{1,2)}、大城幸紀³⁾、中島永二⁴⁾、菅裕明^{1,2,3,4)}

¹⁾東大理学系研究科化学専攻、²⁾東大 先端科学技術研究センター、³⁾東
大工学系研究科先端学際工学専攻、⁴⁾東大工学系研究科化学生命工学
専攻

化学合成を基盤とした研究

O-08 11:04~11:16

イオン性ホウ素クラスターのクリック型環化反応の開発と細胞内イメー
ジング

○Mohamed E. El-Zaria、Afaf R. Genady、Hyun Seung Ban、中村浩之
学習院大理学部

O-09 11:16~11:28

脂質ラフトの1分子追跡実験を指向した蛍光ガングリオシドプローブの
合成と機能検証

河村奈緒子^{1,2)}、○安藤弘宗^{1,2)}、田中賢治²⁾、鈴木健一^{2,3)}、楠見明弘^{2,4)}、
石田秀治¹⁾、木曾真^{1,2)}

¹⁾岐阜大応用生物、²⁾京大 iCeMS、³⁾JST PRESTO、⁴⁾JST ICORP

O-10 11:28~11:40

PET標識化を目指したオリゴ核酸に適する高速クリック反応の開発と
そのオリゴアデニル酸2-5Aへの応用

○白石孝雄¹⁾、喜多村徳昭²⁾、北出幸夫^{1,2,3)}

¹⁾岐阜大院連合創薬医療情報研究科、²⁾岐阜大工学部、³⁾岐阜大先端創
薬研究センター

- O-11 11:40~11:52
アミロイドβペプチドおよびインスリンの機能解明を目指したエステル含有ペプチドの利用
○相馬洋平^{1,2)}、谷口敦彦¹⁾、向井秀仁¹⁾、Stephen B. H. Kent²⁾、木曾良明¹⁾
¹⁾京都薬大薬品化学分野、²⁾シカゴ大生化学&分子生物学分野
- O-12 11:52~12:04
フラーン糖ハイブリット分子によるアミロイドβの光分解
○石田泰則、高橋大介、戸嶋一敦
慶大理工学部応用化学科

世話人会 12:15~13:15 (独立館 D201号教室)

ポスターブリーフィングA 13:20~14:20
座長: 掛谷秀昭(京都大学)

化合物スクリーニング、創薬に関する研究

- | | |
|------------|-----------------|
| P-01 中村淳 | P-15 森本淳平 |
| P-03 中村竜也 | P-17 鈴木聡文 |
| P-05 篠原憲一 | P-19 鈴木孝禎 |
| P-07 土井章弘 | P-21 Eugene Ong |
| P-09 鳥居健太郎 | P-23 廣明秀一 |
| P-11 佐々木宏明 | P-25 岩崎一浩 |
| P-13 小森谷真央 | |

化学合成を基盤とした研究

- | | |
|------------|------------|
| P-27 柴田知範 | P-45 鳴海哲夫 |
| P-29 藤木勝将 | P-47 小嶋良輔 |
| P-31 谷口陽祐 | P-49 安保真裕 |
| P-33 廣野信悟 | P-51 篠倉潔 |
| P-35 藤井智彦 | P-53 倉永健史 |
| P-37 出水庸介 | P-55 比留間貴久 |
| P-39 平山裕一郎 | P-57 高島好聖 |
| P-41 佐藤洋輔 | P-59 岡本真由美 |
| P-43 池戸彰之 | |

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

- | | |
|------------|-----------|
| P-61 中村淳 | P-73 齊木臣二 |
| P-63 宮田能成 | P-75 大橋南美 |
| P-65 渡邊崇史 | P-77 山崎有理 |
| P-67 池田麻里子 | P-79 鈴木貴大 |
| P-69 始平堂弘和 | P-81 有田祐子 |
| P-71 石井浩介 | P-83 今鉄男 |

分子間相互作用

- | | | | |
|------|------|------|------|
| P-85 | 洪昌峰 | P-91 | 平林和久 |
| P-87 | 矢野義明 | P-93 | 牧英里 |
| P-89 | 中屋智博 | | |

ケミカルバイオロジーの技術革新に関する研究

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| P-95 | 武井史恵 | P-103 | 菅野憲 |
| P-97 | 堀雄一郎 | P-105 | 増田宗太 |
| P-99 | 斉藤毅 | P-107 | 田村泰嗣 |
| P-101 | 田中智博 | | |

その他:ケミカルゲノミクス、メタボロミクス、システムバイオロジー、バイオインフォマティクスなど

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| P-109 | 阿部孝宏 | P-115 | 中川彩美 |
| P-111 | 箕畑俊和 | P-117 | 中野雄司 |
| P-113 | 岸上美季 | P-119 | 嶋田勢津 |

ポスターセッションA 14:20~15:20

セッションC 15:20~16:32

座長: 島本啓子(サントリー生物有機科学研究所) 深瀬浩一(大阪大学)

化学合成を基盤とした研究

O-13 15:20~15:32

β -galactosidase活性を認識して選択的細胞死を導くactivatable光増感剤の開発

○市川裕樹^{1,2}、浦野泰照³、長野哲雄^{1,2}

¹東大院薬学系研究科薬品代謝化学教室、²JST CREST、³東大院医学系研究科生体情報学教室

O-14 15:32~15:44

チミンとの架橋反応性を有する新規人工核酸の開発

○井本修平、服部恵一、草野修平、廣濱智哉、萩原伸也、永次史
東北大 多元物質科学研究所

O-15 15:44~15:56

ペプチドリボ核酸(PRNA)-DNAキメラ人工核酸の合成とRNA認識制御およびRNase H 切断機構に関する研究

水谷達哉¹、永見祥²、澤展也²、坂本清志¹、荒木保幸¹、金谷茂則²、井上佳久²、○和田健彦¹

¹東北大多元研、²阪大院工

O-16 15:56~16:08

プローブ化を指向した EGCg 誘導体の合成

○浅川倫宏¹⁾、吉田篤史¹⁾、廣岡康男¹⁾、菅田裕介¹⁾、新田真理子¹⁾、
眞鍋多美子¹⁾、村上宏起¹⁾、鈴木隆¹⁾、大島幹弘¹⁾、吉田晃¹⁾、伊藤邦彦¹⁾、
古田巧²⁾、脇本敏幸³⁾、菅敏幸¹⁾

¹⁾静岡県立大薬学部、²⁾京大 化学研究所、³⁾東大薬学部

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

O-17 16:08~16:20

Isoform特異的Aktキナーゼ阻害システムの開発

○奥住竜哉^{1,2)}、Gregory Ducker²⁾、Chao Zhang²⁾、Kevan Shokat^{2,3)}

¹⁾味の素製薬(株)、²⁾カリフォルニア大サンフランシスコ校、³⁾カリフォルニア大バークレー校

O-18 16:20~16:32

脱SUMO化酵素SENP-1阻害剤の発見と低酸素誘導因子抑制作用

○中村浩之、宇野正治、Hyun Seung Ban

学習院大理学部

休憩

16:32~16:40

招待講演1

16:40~18:25

座長：井本正哉(慶應義塾大学) 袖岡幹子(理化学研究所)

I-01 16:40~17:15

阻害剤のケミカルバイオロジーから得られるNF- κ Bの疾患における役割

梅澤一夫

慶應義塾大学工学部応用化学科

I-02 17:15~17:50

抗癌剤の標的としてのPPAR γ

—PPAR γ 活性化剤CS-7017による抗腫瘍活性—

藤原康策

第一三共(株)癌研究所

I-03 17:50~18:25

タクロリムス(FK506)の発見と開発

後藤俊男

理化学研究所 創薬医療技術基盤プログラム

懇親会

18:40~ (協生館2F イベントホール)

2010年5月19日

セッションD

9:00～10:36

座長：奥住竜哉(味の素製薬(株)) 西村伸太郎(アステラス製薬(株))

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

O-19 9:00～9:12

アルギニンペプチドによるマクロピノサイトーシス誘導受容体の同定

○田中弦¹⁾、中瀬生彦¹⁾、福田保則¹⁾、畑中保丸²⁾、二木史朗¹⁾

¹⁾京大化研、²⁾富山大院薬

O-20 9:12～9:24

ステロールを標的とするtheonellamideの作用機序解析

○西村慎一¹⁾、越智純子¹⁾、有田祐子²⁾、松山晃久²⁾、松永茂樹³⁾、
吉田稔²⁾、掛谷秀昭¹⁾

¹⁾京大院薬学研究科、²⁾理研 基幹研究所、³⁾東大院農学生命科学研究科

O-21 9:24～9:36

タンパク質に隠された生理活性ペプチド、「クリプタイド」を認識する受容体の同定および情報伝達機構の解析

○向井秀仁¹⁾、関哲郎²⁾、保莉義則²⁾、深水昭吉²⁾、木曾良明¹⁾

¹⁾京都薬科大創薬科学フロンティア研究センター薬品化学分野、²⁾筑波大生命環境科学研究科

O-22 9:36～9:48

免疫抑制物質デオキシスパーガリン標的分子探索プローブの合成

○村橋将崇¹⁾、森岡雅彦^{1,2)}、神林佑輔¹⁾、梅澤一夫¹⁾

¹⁾慶應大院基礎理工生物化学研究室、²⁾田辺三菱製薬(株)創薬化学研究所

O-23 9:48～10:00

抗骨粗鬆症アルカロイド、ノルゾアンタミンの作用機序

○福沢世傑、衣川潤、橘和夫

東大院理学系研究科

O-24 10:00～10:12

化学プローブを用いた内因性ニトロ化ヌクレオチドの代謝研究

○斎藤洋平¹⁾、伊藤千秋¹⁾、田野井隆¹⁾、澤智裕²⁾、赤池孝章²⁾、有本博一¹⁾

¹⁾東北大院生命科学研究科、²⁾熊本大院医学薬学研究部

O-25 10:12～10:24

海洋天然物Bisebromoamideによるアクチン線維の安定化

○住谷瑛理子¹⁾、下川浩輝²⁾、佐々木宏明³⁾、末永聖武³⁾、上杉志成^{1,2)}

¹⁾京大 物質-細胞統合システム拠点、²⁾京大 化学研究所、³⁾慶大理工学部化学科

O-26 10:24~10:36

ダウン症治療薬創成へ向けた試み・新規Dyrk1A阻害剤の特異性の結晶構造からの解析

野中洋介^{1,2)}、○小川靖¹⁾、伊倉貞吉³⁾、吉田実代²⁾、平松俊行⁴⁾、
小野木博^{1,2)}、細谷孝充⁴⁾、伊藤暢聡³⁾、萩原正敏^{2,5)}

¹⁾東京医歯大院疾患生命研究部細胞機能制御学、²⁾(株)キノファーマ、
³⁾東京医歯大院疾患生命研究部構造情報研究室、⁴⁾東京医歯大院疾患生命研究部／生体材料工学研究所生命有機化学研究室、⁵⁾東京医歯大難治疾患研究所形質発現制御学

休憩

10:36~10:46

セッションE

10:46~12:34

座長：菊地和也(大阪大学) 佐藤智典(慶應義塾大学)

分子間相互作用

O-27 10:46~10:58

DNA修復反応を観察するDNAナノチップの開発

○遠藤政幸^{1,3)}、勝田陽介²⁾、日高久美²⁾、杉山弘^{1,2,3)}

¹⁾京大 iCeMS、²⁾京大院理、³⁾JST CREST

O-28 10:58~11:10

糖鎖プライマー法を用いた感染に関わる糖鎖のハイスループット解析と糖鎖チップによる動力学的解析

○佐藤智典¹⁾、朱性宇¹⁾、片野直哉¹⁾、柏木一公¹⁾ 岩城正昭²⁾、鈴木哲朗²⁾

¹⁾慶應大理工、²⁾国立感染研

O-29 11:10~11:22

ヘリカルペプチドを用いたペプチド-DNA 間相互作用の安定化

○梶野雅起、藤本和久、井上将彦

富山大院薬

O-30 11:22~11:34

Induced-fit型クリックペプチドを用いたSH2ドメインイディオタイプ創製への新規合成化学的アプローチ

○田中克典¹⁾、白坏早苗¹⁾、景山知佳¹⁾、田原強²⁾、野崎聡²⁾、渡辺恭良²⁾、
深瀬浩一¹⁾

¹⁾阪大院理学研究科、²⁾理研 分子イメージング研究プログラム

ケミカルバイオロジーの技術革新に関する研究

O-31 11:34~11:46

変異β-ラクタマーゼを用いた新規蛋白質ラベル化法の開発

○水上進^{1,2)}、渡辺修司¹⁾、菊地和也^{1,2)}

阪大 ¹⁾大院工学研究科、²⁾免疫学フロンティア研究センター

- O-32 11:46～11:58
 ショウジョウバエを用いたハイスループットな化合物スクリーニングシステムの開発
 ○佐藤由紀子、増田憶良、村松圭吾、津田学、相垣敏郎
 首都大東京・理工・生命
- O-33 11:58～12:10
 歪み誘起性Double-Click反応によるアジド基含有生体分子の化学修飾
 ○喜井勲¹⁾、白石旭¹⁾、平松俊行²⁾、松下武司³⁾、植草秀裕⁴⁾、山本誠⁵⁾、
 工藤明¹⁾、萩原正敏⁵⁾、細谷孝充^{1,2)}
¹⁾東工大院生命理工学研究科生命情報専攻、²⁾東京医歯大院疾患生命科学研究部／生体材料工学研究所 ケミカルバイオロジー分野、³⁾チッソ石油化学(株)五井研究所、⁴⁾東工大院理工学研究科 物質科学専攻、
⁵⁾東京医歯大院疾患生命科学研究部／難治疾患研究所形質発現制御学
- O-34 12:10～12:22
 フッ素化前駆体と陽イオン補足剤を固定化した高分子剤を利用する
 [¹⁸F]PETプローブの合成
 田中浩士¹⁾、○武内良太¹⁾、中村亨弥²⁾、鈴木雄治²⁾、富田育義³⁾、
 中田力²⁾、高橋孝志¹⁾
¹⁾東工大院理工学研究科、²⁾新潟大脳研究所 統合脳機能センター、³⁾東工大院総合理工学研究科
- その他:ケミカルゲノミクス、メタボロミクス、システムバイオロジー、バイオインフォマティクスなど
- O-35 12:22～12:34
 インシリコ予測とインビトロ検証実験を用いたタンパク質化合物結合予測に基づく薬剤標的タンパク質の網羅的探索
 原田皓子、小林大貴、中村優臣、井本正哉、○榊原康文
 慶大理工学部生命情報学科

休憩 12:34～13:35

ポスターブリーフィングB 13:35～14:35

座長: 浦野泰照(東京大学)

化合物スクリーニング、創薬に関する研究

- | | | | |
|------|------|------|-------|
| P-02 | 山本剛史 | P-14 | 山田歩 |
| P-04 | 高須清誠 | P-16 | 川口充康 |
| P-06 | 濱田芳男 | P-18 | 浅見忠男 |
| P-08 | 藤巻貴宏 | P-20 | 辰川英樹 |
| P-10 | 嶋田知佳 | P-22 | 大野修 |
| P-12 | 橋本知恵 | P-24 | 奥野友紀子 |

化学合成を基盤とした研究

- | | | | |
|------|---------------|------|-------|
| P-26 | Sarah Goretta | P-44 | 竹村拓馬 |
| P-28 | 内梨洋介 | P-46 | 堤亮祐 |
| P-30 | 竹内彩乃 | P-48 | 花岡健二郎 |
| P-32 | 辻巖一郎 | P-50 | 清瀬一貴 |
| P-34 | 高尾賢一 | P-52 | 富田淑美 |
| P-36 | 太田英介 | P-54 | 池田麻美子 |
| P-38 | 岡崎真理子 | P-56 | 岩佐江梨子 |
| P-40 | 大好孝幸 | P-58 | 中嶋裕子 |
| P-42 | 小林健一 | P-60 | 宇都芳一 |

化合物の作用機構、標的分子に関する研究

- | | | | |
|------|------|------|-------|
| P-62 | 伊藤千秋 | P-74 | 岩本将吾 |
| P-64 | 油井信弘 | P-76 | 福沢世傑 |
| P-66 | 後藤恭宏 | P-78 | 九十田千子 |
| P-68 | 新藤豊 | P-80 | 山本純 |
| P-70 | 高島亮 | P-82 | 寺井淳 |
| P-72 | 浅井章良 | | |

分子間相互作用

- | | | | |
|------|------|------|------|
| P-84 | 厚見宙志 | P-90 | 坂本聡 |
| P-86 | 栗下泰孝 | P-92 | 堀内晴菜 |
| P-88 | 中村篤史 | | |

ケミカルバイオロジーの技術革新に関する研究

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| P-94 | 実岡誠 | P-102 | 山根健浩 |
| P-96 | 吉村彰真 | P-104 | 坂部雅世 |
| P-98 | 中木恭兵 | P-106 | 後藤美樹 |
| P-100 | 細谷孝充 | P-108 | 中田栄司 |

その他:ケミカルゲノミクス、メタボロミクス、システムバイオロジー、バイオインフォマティクスなど

- | | | | |
|-------|------|-------|-------|
| P-110 | 今井章裕 | P-116 | 増田朱美 |
| P-112 | 間木重行 | P-118 | 山上あゆみ |
| P-114 | 船曳知香 | P-120 | 吉澤江里子 |

ポスターセッションB

14:35～15:35

- 招待講演2** 15:35～17:20
座長：萩原正敏(東京医科歯科大学) 上杉志成(京都大学)
- I-04 15:35～16:10
Luminogenomics by Diversity Oriented Fluorescence Library Approach (DOFLA)
Young-Tae Chang
¹⁾National University of Singapore, Department of Chemistry, ²⁾Singapore Bioimaging Consortium, A*STAR
- I-05 16:10～16:45
抗腫瘍性天然物プラジエノライドの標的分子探索
○小竹良彦¹⁾、相根康司²⁾、水井佳治²⁾、大和隆志³⁾
エーザイ株式会社 ¹⁾オンコロジー創薬ユニット ケミカルバイオロジーグループ、²⁾ネクストジェネレーションシステムズ機能ユニット リード探索バイオロジーグループ、³⁾オンコロジー創薬ユニット
- I-06 16:45～17:20
サリドマイド催奇性の分子機構の解明
半田宏^{1,2)}
¹⁾東京工業大学・院生命理工、²⁾ 東京工業大学・統合研究院
- ポスター賞表彰式** 17:20～17:35
日本ケミカルバイオロジー学会 第5回年会長
上村大輔(慶應義塾大学)
- 総会** 17:35～17:50
- 閉会の辞** 17:50～18:00
日本ケミカルバイオロジー学会 第6回年会長
半田宏(東京工業大学)